

新城市若者総合政策ができるまで（スタート時のヒント）

【若者政策の歩み】

平成26年5月、市長から市民自治会議（自治基本条例の推進委員会）に対し、若者政策について諮問。市民自治会議の下部組織として若者政策ワーキングを設置。

- ⇒ 若者政策ワーキングは、若者総合政策、若者議会について市民自治会議とキャッチボールしながら検討。実効性を持たせるための条例制定を提案。ワーキングで条例のたたき台を作成。
- ⇒ 11月、市民自治会議から、「若者総合政策」、「若者条例」、「若者議会条例」について市長に答申
- ⇒ 12月、「新城市若者条例」と「新城市若者議会条例」が可決
- ⇒ 平成27年度から若者議会（第1期）開始。現在は**6期、37事業**の提案。

【若者政策ワーキング】

市内19名（男性13人、女性6人）の若者が「若者が活躍できるまち」の実現に向けて活動。

…一般公募10人（高校生2人、大学生7人、社会人1人）、職員9人（地域おこし協力隊4人、職員5人）

■ワークショップ

- <参考事例>
- ・福井県鯖江市 「地域プランコテスト」
 - ・長野県小布施町 「小布施若者会議」
 - ・山形県遊佐町 「少年町長 少年議会」
 - ・石川県金沢市 「学生のまち推進条例」

■新城を知る3つのバスルート+行政についての勉強

市内の22ヶ所の地域資源を視察(公共施設、歴史・文化、観光・自然)

⇒「知らない新城」を知り、さらに好きになった

■若者政策キックオフシンポジウム27.3.15



【若者総合政策】

1. 好きなことにアツくなれるまち

- (1) 楽しい図書館のつくり方
- (2) 勤労青少年ホームに若者を取り戻す
- (3) 桜淵公園にフットサルコートを作ろう
- (4) 鬼久保広場に若者が集結

2. ホッ♡ちょっとひといきできるまち

- (1) ひといきルートの提案
- (2) メーカー・企業のイベントやオフ会を誘致
- (3) CM作成

【主な成果】

- ふるさと情報館リノベーション事業
郷土資料室・多目的スペース利用者数
年間数十人 ⇒ **4,119人**

- ふるさと納税リニューアル事業

H26	170件	3,672千円
⇒H27	203件	4,780千円
⇒H28	210件	5,848千円
⇒H29	227件	9,249千円 (若者議会提案)
⇒H30	435件	15,427千円
⇒R1	558件	18,095千円
⇒R2	<u>631件</u>	<u>22,606千円</u>

3. 夢が実現するまち

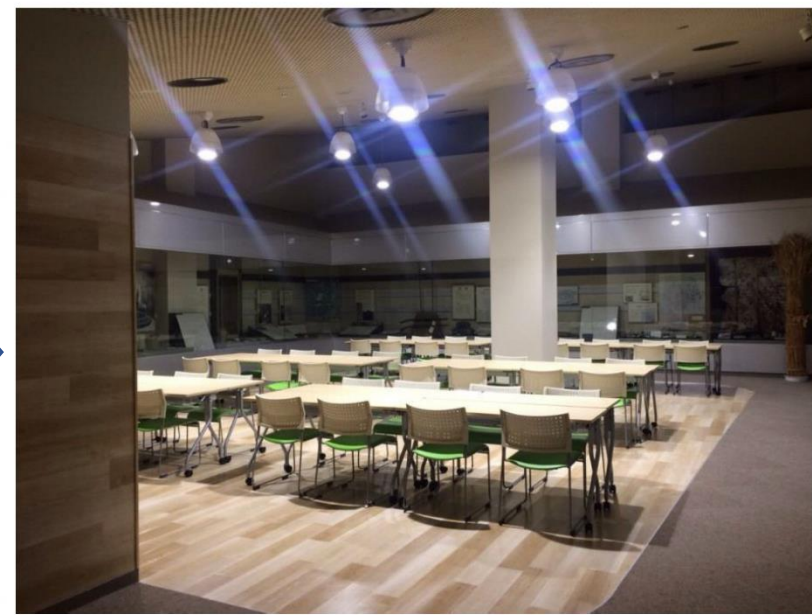
- (1) W. C (Wakamono Creation)
- (2) 新城おこしプランコンテスト
- (3) チャレンジショップ
- (4) ITチャレンジ講習
- (5) チャレンジ補助金
- (6) 軽トラ市でバスケットボール 3 on 3

4. あっ、こんなところに素敵な出会い

- (1) 縁結びストリート
- (2) スポーツ×出会い
- (3) 素敵な出会いと思い出づくり
- (4) 盆ダンシング～若者×地域～



新城図書館2階郷土資料室(旧)



新城図書館2階郷土資料室(新)